



7月豪雨災害 その検証と命を守る治水対策

昨年12月1日(大洲市)、2日(松山市)、講演会「未来のために 命を守る治水対策～あの洪水は天災か、人災か～」を開催し、今本博健さん(京都大学名誉教授、専門河川工学)と嘉田由紀子さん(前滋賀県知事、農学博士)のお話を伺いました。

■ 大洲会場で採択された「講演会『未来のために、命を守る治水対策』参加者決議」は、12月26日、愛媛県庁において武井議員立ち会いのもと、中村知事に提出されました。「決議」では、次の2項目を国土交通省、愛媛県に求めています。

- ① 住民参加で河川整備計画をゼロから見直し、その上で新たな河川整備計画を構築する。
- ② 当面の治水対策としては、河床の掘削と堤防建築に限り、治水安全度の低い所から対策を行う。

大洲市で長年、山鳥坂ダム建設の反対運動を続けている池田亀菊さんと「野村の未来を守る会」代表の和氣數男さんからご寄稿をいただきました。

講演会に参加して

武井多佳子氏と嘉田由紀子氏とのご縁で、今本氏と嘉田氏の講演会が実現したとのこと、深く感謝しております。

嘉田氏の、徹底して人や人の暮らしを守る水に対する防災や政策には、大きな驚きと深い感銘を受けました。「大洲平野の大部分は遊水地としておくものとする」という昭和19年の計画の堤防を残したまま、「大洲・八幡浜地方拠点都市地域」にし、浸水させている市に住んでいる者にとっては夢のようにも思えるお話でした。

今本氏には2013年に大洲で講演をして頂き、肱川について随分詳しく調べて頂いております。今本氏のお話の通り肱川では、「河道の流下能力を究極まで増大させ、なお不足する場合、ダムで調節するというのが治水の鉄則である」とは真逆のことをしています。1959年に鹿野川ダムが完成した時、下流大洲地点での無害洪水が毎秒約1000トンであるからと、ダムで毎秒約600トン調節することになっています。60年も経った今も600トンが変えられず、それどころか川は堆砂でつぶれる程になっている所もあります。にもかかわらず6300トンに対応する対策だと、山鳥坂ダムや鹿野川ダムのトンネル洪水吐を建設しています。河の管理の誤りであり、昨年7月豪雨の肱川の甚大な被害は人災の部分が大いといえるでしょう。

池田 亀菊 (大洲市)

さらなるご支援を

昨夏まで野村町民で「水害」などを念頭に置いて生活していた人は皆無に近かった。

このような中での今回の水害、5名の尊い人命と多くの市民の財産を奪われ、とてつもない被害を被った。

混迷を極めていたこの時期、開催された講演会での今本博健さんのお話「山鳥坂ダムが肱川の治水を狂わせている」は、「野村の未来を守る会」にとって本当に視野が広がり、問題の核心が鮮明になった、まさにタイムリーで良い講演会でした。

主催者にお礼を申し上げたい。今後、流域住民運動の連携、さらに市政や県政、国政に運動を反映させるためにさらなるご支援を賜りたい。

和氣 數男 (西予市野村)



嘉田由起子さん、今本博健さん、和氣さん (松山会場)

政治カフェのご案内 《 憲法とは何か 》

安倍首相は任期中の改憲を諦めていません。平和憲法の危機が続いています。自民党の改憲案は何が問題なのでしょうか。そもそも憲法って何？ 私たちの暮らしと憲法の関わりとは？ 愛媛玉串料違憲訴訟など政教分離訴訟に携わり、「5・3愛媛憲法集会」や「憲法9条をまもる県民の会」の代表を長年務められた弁護士草薙順一さんを講師に、憲法について改めて学び、おしゃべりしませんか。ご参加をお待ちしています。

と き： 2019年2月16日(土) 10:00～12:00

ところ： 生き活き政治ネット事務所 (松山市衣山2-4-47早瀬ビル1F)

お 話： 草薙 順一さん (弁護士)



日本豪雨災害で感じた、アロマボランティアの必要性

吉田町の活動(2018.11.17)



私は松山市内でアロマセラピーの講師とセラピストとして活動しています。西日本豪雨をきっかけに、宇和島市在住の中田幸さんという、さとう式リンパケアのセラピストさんと共に、南予で施術ボランティアを続けてきました。

7月23日の三間、吉田町を皮切りに、野村、宇和島、明浜町と昨年内で延べ15カ所以上を訪問しました。呼びかけに集まった仲間は、県内だけでなく高知、徳島からも集まり、アロマとさとう式リンパケアのボランティアチームを作りました。

アロマは主にハンドマッサージとアロマスプレーの配布を。さとう式リンパケアはベッドを持参して、全身のこわばりを緩め、男性や高齢者の方にもとても喜んでいただきました。

香りがあり、優しく「触れる」アロマハンドマッサージでは、ひと時気持ち緩んで、つらかった気持ちを話されたり、何気ない会話から日常の困りごとを聞いたりすることができました。とても自然な形で傾聴ができ、笑顔の空間になっていたと思います。

また、ボランティアをしたくても、一人では一歩が踏み出せなかったセラピストたちに声をかけ、災害ボランティアの経験者が増えたことは、今後の災害にもきっと生かされると思います。

私たちは、「わなか～wanaka～」という名前で宇和島市のNPO団体として登録し、今年も被災地への定期的な訪問をしたり、地元の方々がお互いにケアしあえる会をしたいと思います。しかし、現状では松山からの交通費や材料費などの資金が底をつき、年末からの活動はしばらくお休みをしています。

今後も継続していくために、一緒に活動して下さる方や、活動のための募金をお願いしています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(児玉 三由)



【カンパ送付先】 ゆうちょ銀行 記号16110 番号24427951 コダマ ミユキ
(わなか～wanaka～専用口座となっています)
事務局 〒798-0038 宇和島市丸穂甲 278-3 Tel 080-6380-4984 メール 459wanaka@gmail.com

インフォメーション

- ❖ 「戦争法(安保法制)」強行成立損害賠償訴訟
第7回 口頭弁論
1月16日(水)13:30～ @松山地方裁判所
- ❖ 講演会「原発ゼロで日本経済は再生する」
1月19日(土)13:30～16:00 @ピュアフル松山6F
講師:吉原 毅さん(城南信用金庫顧問、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長)
主催:エネルギーの未来を考える会・愛媛 (500円)
- ❖ 生き活き政治ネット事務所開き
1月26日(土)13:30～15:30
@生き活き政治ネット事務所(衣山2-4-47早瀬ビル1F)
- ❖ 「会計年度任用職員制度」についての学習会
1月28日(月)18:30～ @松山市民会館第1会議室
- ❖ 第20回コムズフェスティバル市民企画分科会
●「怒れる女子会」
～私達の払った税金の使い道、チェックできる?～
2月2日(土)10:00～12:00 @コムズ会議室1
主催:議会に女性をおくる会

- 「いま、フェミニズムが新しい」
～'#Me Too'からみえてくる現在(いま)と、私たちの未来～
2月2日(土)14:30～16:30
@コムズ多目的室
講師:岡野八代さん(同志社大学大学院教授)
主催:ウィメンズカウンセリング松山 (500円)



- ❖ 政治カフェ「憲法とは何か」 お話:草薙順一さん
2月16日(土)10:00～12:00
@生き活き政治ネット事務所
- ❖ 講演会「核燃サイクルと新規建設の現地青森に聞く」
2月16日(土)13:30～ @愛媛県美術館2F研修室
講師:中道雅史さん(大間原発反対現地集会実行委事務局)
主催:原発さよなら四国ネットワーク

年明け早々の熊本での大地震、周辺諸国との間にあって波風を立てようとするかのようなこの国の政府のありよう、2019年も多難な年になりそうな予感ですが、今年は統一地方選挙、参議院選挙と選挙の年でもあります。主権者として現状を変えることができるチャンスです。今年もよろしくお願いたします。(生き活き政治ネット)